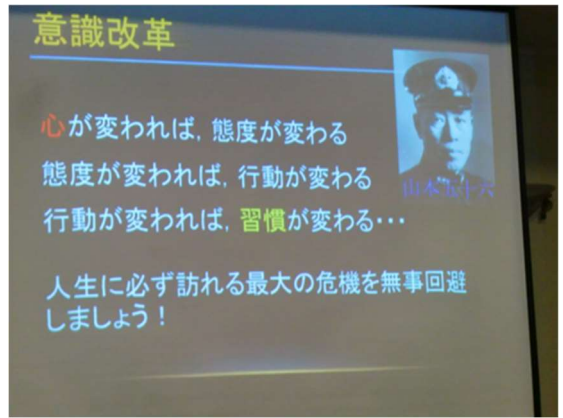



皆さんお元気ですか。

2017年8月の出来事を綴っています。ご覧くださいませ。

	<p>8月18日、安全対策協議会に参加した。これは、ニカラグア在住の日本人を対象に、日本大使館が主催した、ニカラグアでの安全についての講習会だ。ニカラグアの警察官と日本領事官がニカラグアにおける治安状況や安全対策について説明された。日本領事官のH氏は、「安全のための三原則」として、1. 目立たない。2. 行動を予知されない。3. 用心を怠らない。の3点を挙げられた。そして、左写真の「意識改革」についても付け加えられた。この文言（山本五十六）をみて、ふと思った。ニカラグアに来て2年。私は変わったのだろうか。私自身、意識はないが、来月帰国して、日本の生活に戻るなかで、キッと変わった自分に気づくのかなあ。そして、翌日、この文言の「山本五十六」のウキペディアをチェックした。感動する言葉がいくつもあった。また、日本領事官のH氏がさらに身近な人にも思えた。</p>
	<p>8月20日、ソフトボール大会に参加した。ニカラグア日本人会主催の大会で、日本大使館員とその家族、JICA ボランティアが主な参加者だ。最近、合気道以外に、殆んどスポーツらしきものをしていなかったのがなかったので、気持ちが浮足だった。でも歳だから怪我をしないようにと心がけた。しかし、いざサードの守備につき、ボールが飛んでくるとあせってなかなかボールが取れなかった。また、一塁に投げようと思っても、暴投で思ったようには行かなかった。走塁のときも何か気持ちと足の動きとがあってなくて危なかった。ベンチに戻って気づいたのだけど、右膝のズボンに1センチほどの穴が空いていて破れていた。そして、膝に擦り傷があった。どこかでこけたのかなあ。試合中は夢中になっていて、少しも気づかなかった。そして、翌日、膝関節が痛くなった。怪我をしないように心がけていたのだが、やっぱり怪我をしてしまった。がっかり。合気道をやっている、歳には勝てない。</p>



8月23日、我が家の猫、カリンを友人に譲った。友人の名前は、Jeiさん。UCAの学生で、ニカラグア人らしくない顔つきであり、性格もおとなしい。私は、カリンを日本に持ってかえるための手続きはほぼ済ませたのだが、あるニカラグア在住の日本人から本国と日本では気候がかなり違うので、死んでしまうことが多いらしい、と聞かされた。その後で、たまたま猫好きのJeiさんが我が家に友人と来た。彼は子猫を2匹飼っているらしい。彼ならカリンをあげても、ちゃんと面倒みてくれると思い、あげることにした。しかし、カリンがいなくなった今は、寂しさを感じ、やっぱり我が家に持って帰ったほうが良かったかなあと思う。今でも家の前には、カリンの仲間の野良猫が2匹やってくる。以前はこの猫たちをみるとカリンの餌を食べに来たと思って、追い払っていたが今は、ジッと見ている。



8月27日、合気道の生徒たちと一緒に、Volcan Mombacho (モンバッチョ火山) へハイキングに行った。生徒の自家用車(日産のトラック)で、4人は座席に、3人が荷台に乗り、2時間ほどマナグア市から南に行ったところにある火山だ。ガイドによるとサル、色鮮やかな野鳥やカエル、さらに、山頂の火口付近では、煙や炎も見られるといていた。しかし、登山コースを歩いている途中から雨になり、周りはいとうしい緑の植物だけであとは何にも見えなかった。登山コース途中にある展望台に上っても霧が覆っていて、山下はなにも見えなかった。しかし、火口付近に近づくと硫黄の臭いで、また枯れた樹木でいっぱいだった。この登山コースは、急な登り降りがあり、膝がガクガクになった。下山後、マサヤという町にあるホテルに行き、昼食をとった。ここには、プールもあり、食後はゆっくりとプールに入って、きつかった登山の疲れをいやした。

